

日沿道 象潟仁賀保道路（象潟IC～金浦IC）が
平成27年10月18日（日）に開通します
～地域の産業・観光・救急医療・防災への効果が拡大～

国土交通省が事業を進めてきました、日本海沿岸東北自動車道
象潟仁賀保道路のうち、象潟IC～金浦ICまでの延長6.8kmが
平成27年10月18日（日）に開通します。

「象潟仁賀保道路」は延長13.7kmの自動車専用道路で、平成24
年10月に金浦IC～仁賀保ICまでの6.9kmが開通しております
が、今回の象潟IC～金浦ICの開通により全線開通します。

なお、インター名称は、「象潟IC」に決定しました。

○日沿道延伸により期待される整備効果（※別添参照）

効果1：主要産業である電子部品の輸送効率化を支援

効果2：「道の駅」を拠点とした環鳥海地域の観光活性化を支援

効果3：救急搬送の迅速性・安定性の確保を支援

効果4：災害に強く強靱な緊急輸送道路を確保

1. 開通区間：象潟IC～金浦IC（延長6.8km）

※今回開通する区間は、これまでと同様に無料となります。

※今回の開通区間については自動車専用道路となり、歩行者、自転車、軽車
両、二輪車(125cc以下)は通行できません。

2. 開通日：平成27年10月18日（日）

3. 開通式典：開通日同日に開催致しますが、一般開放等の日時を含めて詳細に
ついては後日お知らせします。

発表記者会：秋田県政記者会

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 秋田河川国道事務所

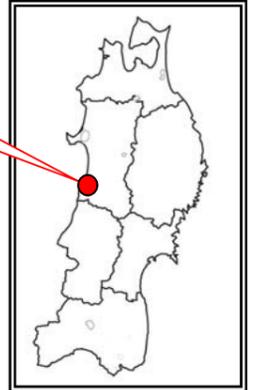
副所長（道路担当） 佐野 智樹（内線205） 電話 018-823-4167（代表）

日本海沿岸東北自動車道

きさかた このうら
(象潟I.C~金浦I.C) L=6.8km

開通 平成27年10月18日(日)

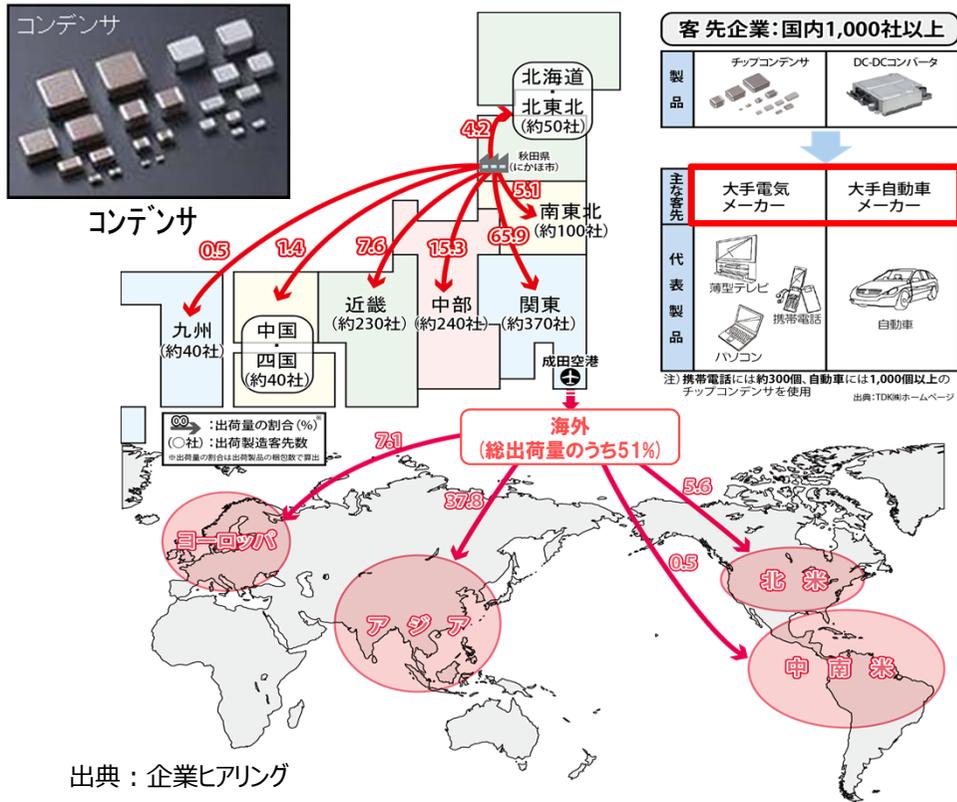
日本海沿岸東北自動車道
象潟I.C~金浦I.C



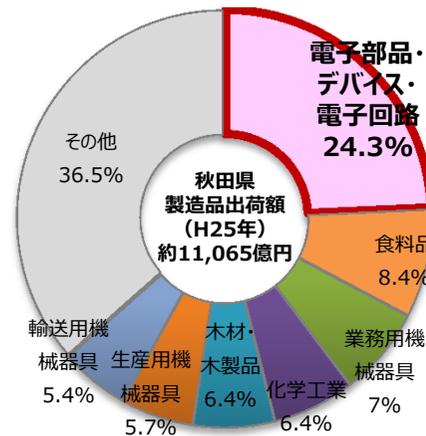
主要産業である電子部品の輸送効率化を支援

- ◆ 秋田県内の電子部品・デバイス・電子回路産業は、産業分類別製造品出荷額の約1/4を占める主要産業
- ◆ 本荘由利地域に集積しており、秋田県内の製造業を牽引
- ◆ 日沿道の延伸により物流の効率化を図り、主要産業の再生と成長を支援

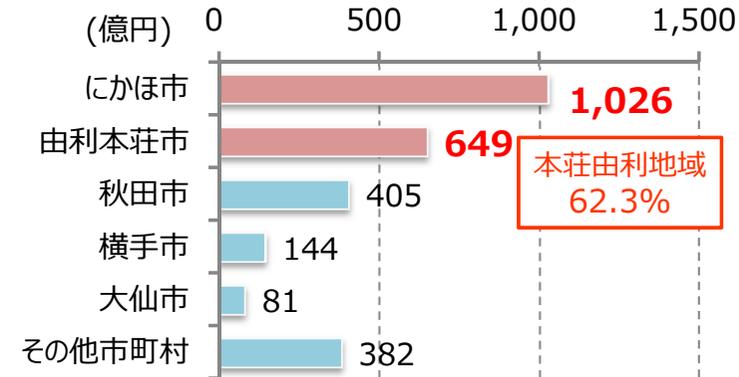
▼ にかほ市企業の製品の出荷先



▼ 産業分類別製造品出荷額 (秋田県H25)



▼ 電子部品・デバイス・電子回路の市町村別出荷額 (秋田県H25)



出典: 工業統計



にかほ市企業の声

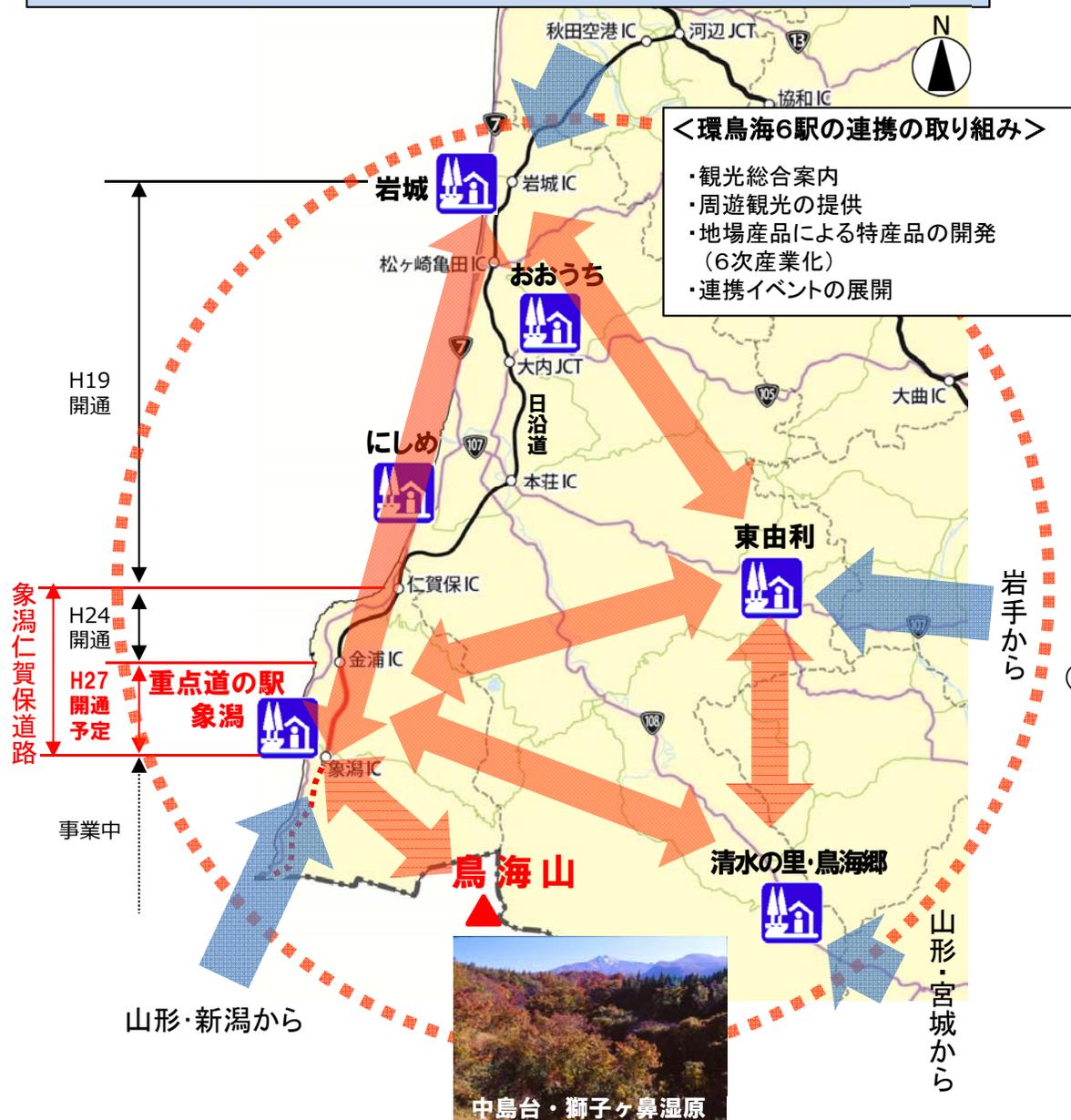
- ・ 製品出荷の9割以上は秋田～山形県境を結ぶ唯一の道路である国道7号に依存している。
- ・ 日沿道の延伸により、中部、九州の自動車組み立て工場との取引拡大が期待される。
- ・ 地元運送会社、地元企業の雇用・収益の拡大が期待される。

出典: 企業ヒアリング

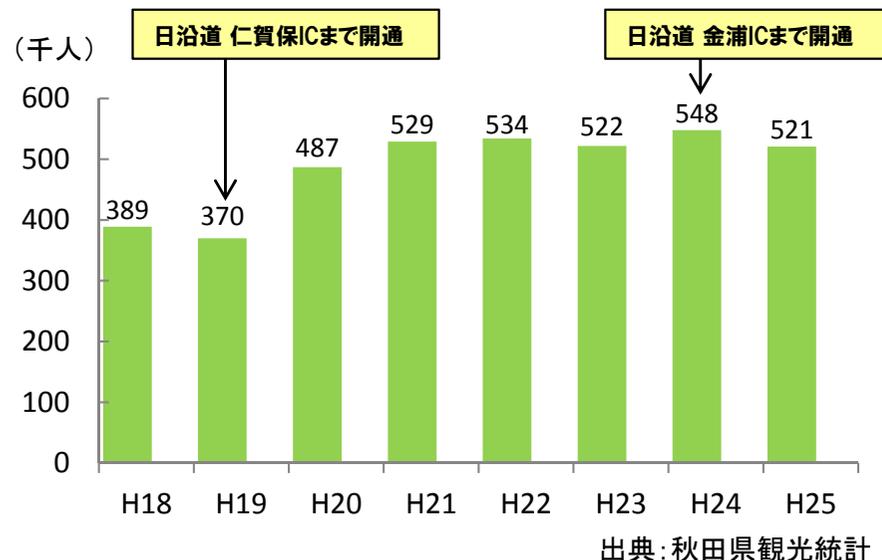
「道の駅」を拠点とした環鳥海地域の観光活性化を支援

- ◆ 日沿道の整備推進により、道の駅「象潟」の入込み客数、にかほ市の外国人宿泊客が増加
- ◆ 日沿道の延伸により、環鳥海の道の駅の連携等、地域独自の観光振興戦略を支援

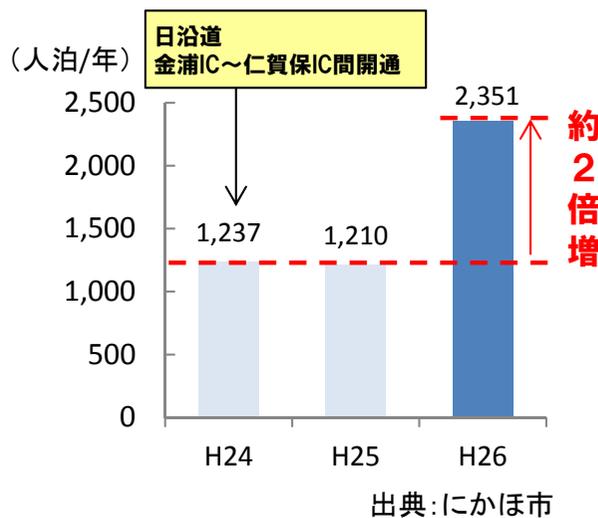
重点「道の駅 象潟」を中心に環鳥海6駅が連携



▼ 道の駅「象潟」の入込み客数の推移



▼ にかほ市の外国人宿泊客の推移



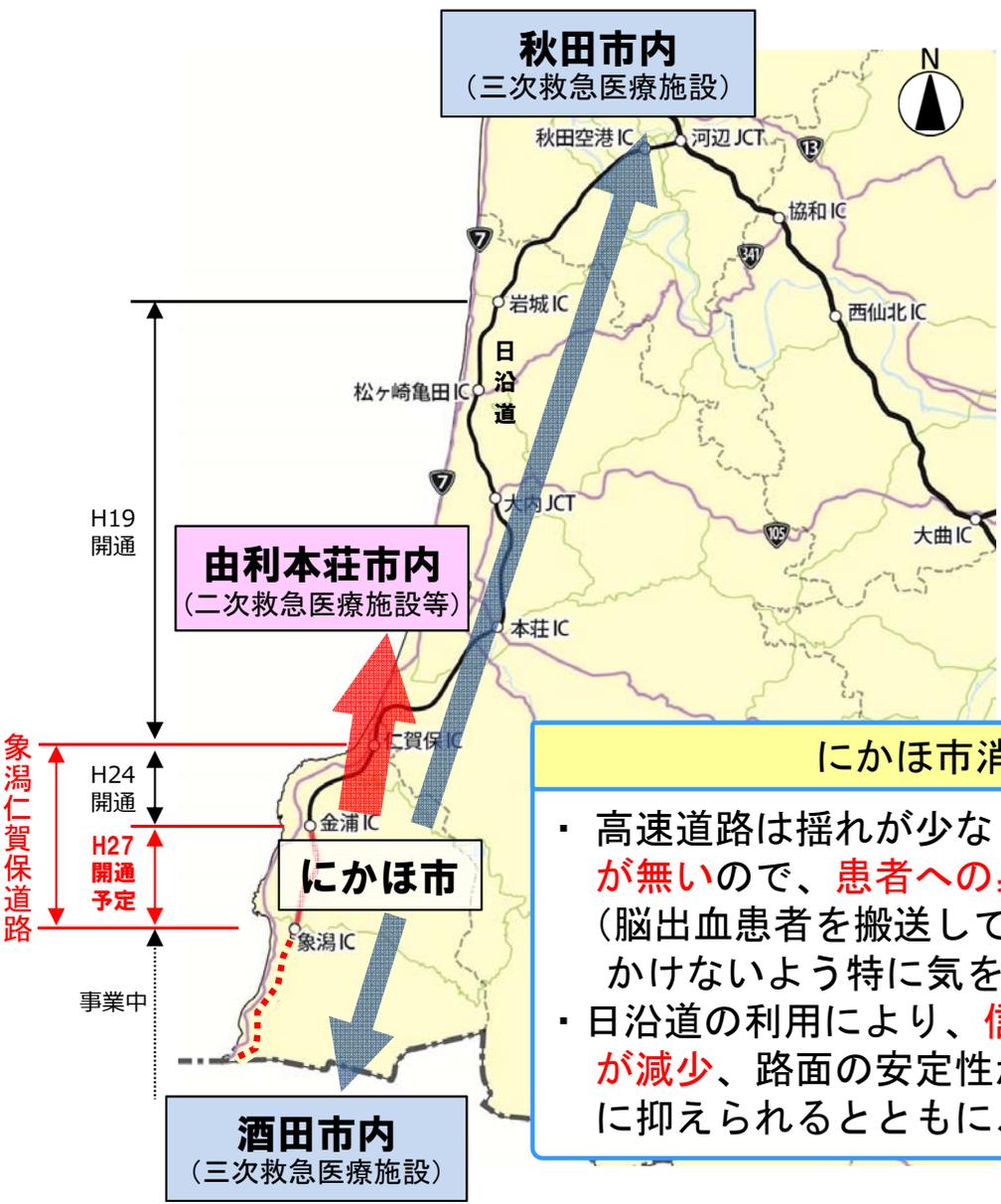
にかほ市観光施設の声

- ・日沿道の整備により、大館、八峰町方面（県北）からの来訪者数が増加しています。
- ・全線開通による山形、新潟方面からの観光客増加を期待しています。

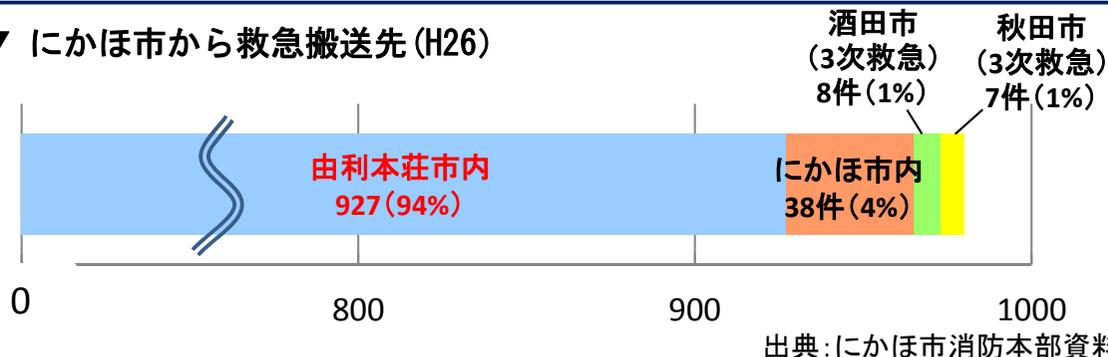
出典：にかほ市観光施設ヒアリング

救急搬送の迅速性・安定性の確保を支援

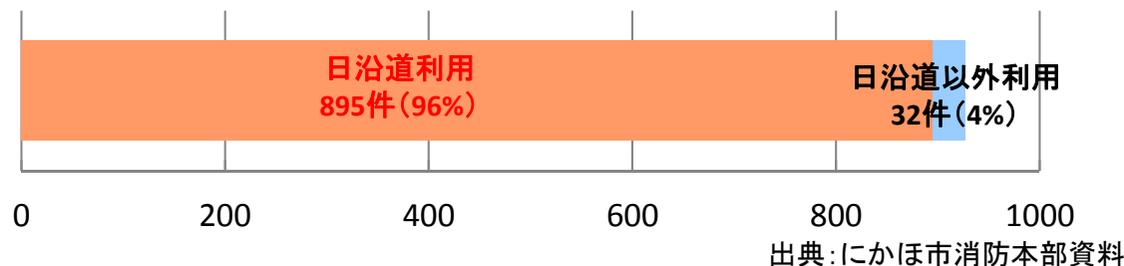
- ◆ にかほ市の救急搬送の94%が由利本荘市の病院に搬送。このうち、96%が日沿道を利用
- ◆ また、重篤患者については、秋田市と酒田市の三次救急医療施設に搬送
- ◆ 日沿道の延伸により、救急搬送の迅速性・安定性を確保



▼ にかほ市から救急搬送先 (H26)



▼ にかほ市 ⇒ 由利本荘市の救急搬送ルート (H26)

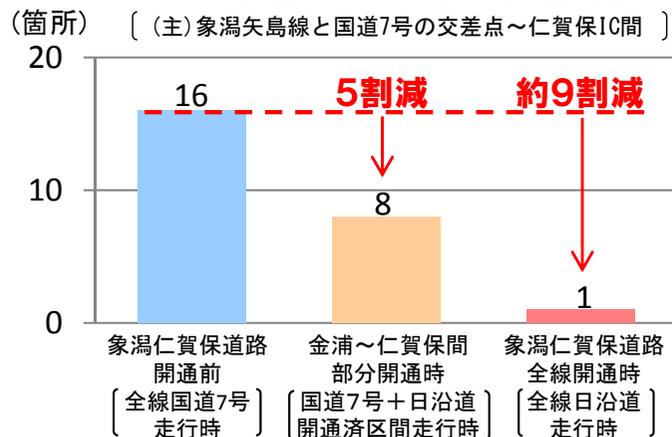


にかほ市消防本部の声

- ・ 高速道路は揺れが少なく、**ブレーキを踏む必要が無い**ので、**患者への身体的負担を軽減**できる。
(脳出血患者を搬送している際は、急ブレーキをかけないように特に気を遣う)
- ・ 日沿道の利用により、**信号等による加減速の機会が減少**、路面の安定性から**血圧の変動を最小限に抑えられ**るとともに、**機関員の負担が軽減**。

出典:にかほ市消防本部ヒアリング

▼ 救急搬送ルートの信号交差点数



災害に強く強靱な緊急輸送道路を確保

- ◆ 本荘由利地域の主要幹線道路である国道7号が津波浸水域を通過しており、津波により寸断の恐れ
- ◆ 日沿道は津波浸水域を100%回避。災害等に強く強靱な緊急輸送道路を確保

▼ 道路ネットワークと地震津波被害想定

日沿道(県境～岩城)は、津波浸水域を100%回避

- ✖ : 津波により寸断する恐れのある箇所
※出典：秋田県地震被害想定調査報告書(H25.8)
- : 津波により孤立する恐れのある集落
※出典：秋田県地震被害想定調査報告書(H25.8)の津波浸水域より想定

にかほ市企業の声

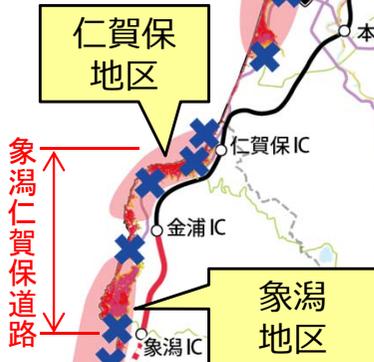
- 物流の大半は国道7号1路線に依存しており、寸断された場合は、国内外の輸送に支障をきたすため、国道7号の代替機能としても日沿道の整備を望む。

出典：にかほ市企業ヒアリング

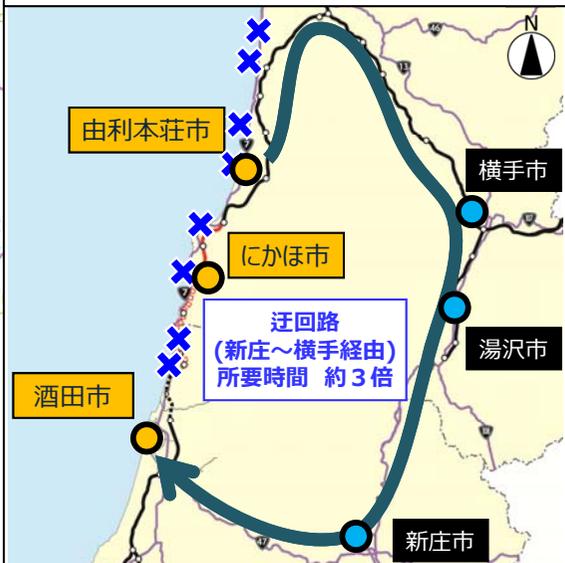
▼ 津波予想浸水域と国道7号、日沿道(仁賀保IC付近)



国道7号の21箇所(延長比：約25%)が津波浸水の恐れ



▼ 国道7号通行止め時迂回路

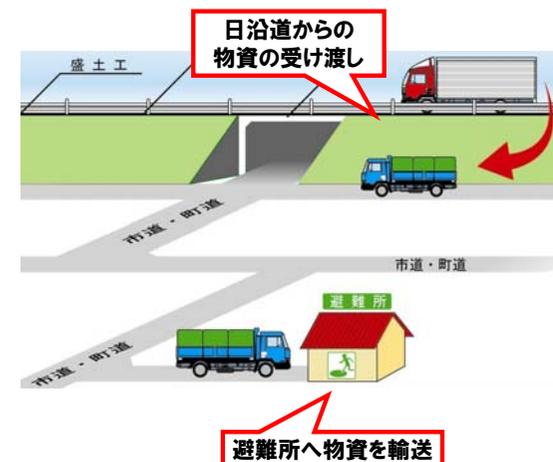


▼ 想定される孤立集落の人口規模

地区		想定される孤立集落の人口
にかほ市	象潟地区	5,980人
	仁賀保地区	3,784人
由利本荘市	本荘市街地地区	12,768人
	本荘北部地区	1,571人
	岩城地区	2,527人

- ※想定される孤立集落：秋田県地震被害想定調査報告書(H25.8)の津波浸水域より想定
- ※孤立集落の人口規模：主要地方道以上の道路沿線地域におけるH22国勢調査4次メッシュ人口より集計

▼ 孤立地域への支援物資受け渡しイメージ



避難所へ物資を輸送